

生物資源分野

研究領域

「生物資源の持続可能な生産と利用に資する研究」

採択年度	2017年	研究期間	5年間
研究課題名	ミャンマーにおけるイネゲノム育種システム強化		
研究代表機関	九州大学大学院農学研究院		
相手国	ミャンマー連邦共和国	主要相手国 研究機関	農業畜産灌漑省農業研究局
研究課題の概要			
<p>本研究は、ミャンマーの自然・社会経済環境に適したイネ育種システムの強化を図るため、高収量性、病虫害抵抗性、環境ストレス耐性、早生等の有用遺伝子を地域適応イネ品種に導入して有望系統を開発することを目的とする。具体的には、育種基盤構築のために、迅速戻し交配とマーカー選抜の確立、有用遺伝子の探索・同定・解析、ミャンマー遺伝資源の評価を行い、天水・低地水田や畑地に適した系統開発のために地域適応品種に有用遺伝子を導入する。その後、有望系統の評価をミャンマー各地の試験栽培で行うとともに、ASEANへの波及を目指す。</p>			